

# 私の街の…第1回…

## コーディネーター

皆さんは「学校支援コーディネーター」という言葉を耳にしたことがありますか。実はこのコーディネーターが、学校と地域を結びつけるパイプ役として、学校と連携して様々な活動を行っているのです。

### 小平市における学校支援ボランティアコーディネーターの主な仕事

1. 学校と学校を支援するボランティアの方々との連絡・調整を行います。
2. 総合的な学習の時間などにおいて、教員の求めに応じて企画・立案し、必要な人材をコーディネートします。
3. 学校と連携して、学校支援ボランティア養成講座などの企画・運営を行い、人材確保、ボランティアのスキルアップを図っています。
4. その他、学校の様々な要望に応じて活動します。

### 布さんに、コーディネーターの仕事についてお話を伺いました。

#### Q1 コーディネーターという仕事について

コーディネーターになってよかったと思えるとき…それは活動の中で3つの笑顔に出会えたときです。

一つは、子どもたちの生き生きとした表情の中にある笑顔。二つ、一緒に取り組んだ先生方の「うまくいった」という安堵の笑顔。

三つ、共に活動しているボランティア仲間の「役に立ってよかった」という満足の笑顔。

笑顔こそ、かけがえのないものになっています…

この笑顔のためには、活動にかかわる方々との信頼関係を築くことが何より重要で、コミュニケーションを丁寧にとることで信頼と理解を深め合っています。管理職をはじめとする校内の先生方、ボランティアはもちろん、保護者との関係も大切になってきます。そのために常に連携をとり先生方やボランティア（社会人・学生）の考え方や想いをよく聞いた上で活動を進めていかなければなりません。

今年度は必要な学年の学年会に出席させていただいて話し合いを進めています。

また、初めてPTA総会の中でコーディネーターの紹介と活動説明、及びボランティアの募集も行いました。さらに、地域とPTAをつなぐコーディネーターも誕生しました。

#### Q2 コーディネーターの普及について

小学校に比べると保護者や地域がボランティアとしてかかわりにくいのが中学校の現状です。そこで、どの中学でも活用できるような各校共通のネットワークを作っていきたいと考えています。課題別のネットワークを作成し（需要の多い図書ボランティアなど）どの学校のコーディネーターでも活用できればより発展していくと思います。

### 今回ご紹介するコーディネーター

ぬの あきこ  
布 昭子さん

小平市立小平第二中学校・  
学校支援ボランティアコーディネーター



平成14年度より選択授業のボランティア、学校支援コーディネーターとして活躍。「一人を大切に」という視点を核としてメンバーと共に豊かな人脈と経験を生かして、地域連携推進と学校支援という領域を創る。5年目に入り、その活躍は学校に大きな力をもたらす。平成18年4月より、小平市社会教育委員に就任。

### 小平二中学校支援ボランティアの『モットー』

子どもたちにとって、学校生活を楽しく過ごすためには

- ★勉強が分かること
- ★友達がいること
- ★自分の役割があること、それが大切です。

#### Q3 コーディネーターを目指すには

私自身は、青少年対策地区委員・PTA・育児サポーターや福祉サークルに長年かかわり、その中で子どもたちに未来の夢を思い描いてほしいと思い、学校支援にかかわりをもちました。選択授業の英語ボランティアとして現実の中学校の様子に触れ、ボランティア同士や先生方と何回も話し合う中で課題が明確になり、一つ一つ解決していくうちに学校と地域を結びつける役を担うコーディネーターになりました。

コーディネーターには、何事も自分の思いだけで走らず、先生や他のコーディネーター、現場で活躍しているボランティアの方々と相談し進めていくこと、このコミュニケーションが重要です。コーディネーターもボランティアとともに、常に情報収集のアンテナを張り巡らせ、自分を高める努力を惜しまないこと、いつも学び続けることで新しい視点も生まれてくると考えています。

### 終わりに

「先生に笑顔でいて欲しいです。なぜなら、その向こうには子どもがいるからです。先生を通して子どもが笑顔になれるなら、頑張れます。」という言葉が、いつまでも心に残りました。みなさんも、子どもの笑顔のために、頑張ってみませんか。